学校行事参加型＋講演会型＋子育てサロン型＋在宅取組型（小学校）

学 校 名 等	美濃市立美濃小学校
実 施 日 時	平成２７年１０月２４日（土）１４：０５～１６：１５
会　　場	美濃小学校　体育館・各教室
参 加 人 数	全校児童３７５名と保護者約３７０名
学習課題（分野）	サイエンスショー・学級懇談会（子育てサロン）
運営者の願い	エコ実験を通して、親子で環境について話題にし、親子の触れ合いをもってほしい。新しい発見や体験を通して、興味・関心を広げる子どもの様子や成長を感じてほしい。 家庭教育プログラムを活用して家庭学習の充実について話し合うことで、わが子の様子を振り返り、今後どのような姿をめざして取り組んでいくとよいのかを考える機会にしたい。

学　習　の　内　容

＜あいさつ＞　学校長・役員

・あいさつ、学習内容の説明、講師紹介。

＜親子サイエンスショーの様子＞

＜らんま先生のサイエンスショー＞

講師:らんま先生　石渡　学　氏

（環境省認定環境カウンセラー・eco 実験パフォーマー）

・自己紹介:インドネシアで植樹活動。でも、残念な光景になることもある。環境活動は続けていくことが大事。

・ジャグリング・マジックコンテストで優勝したパフォーマンス技術を活かして、ジャグリングや玉乗りなど、楽しいパフォーマンスが披露され、会場が、とても盛り上がった。

・児童参加実験、保護者参加実験、教師参加実験では、参加者と一緒に実験し、会場に問いかけながら進められ、ステージと会場が一体となった。

・水のエコ実験では、地球上の水の1％しか飲めないこと、水を大切にして汚さない工夫についてのお話など、実験とかかわらせて、環境問題の情報が伝えられ、学んだり、考えたりする内容となった。

・エコステージのお話、リサイクルや省エネ、環境活動についてのお話から、家庭での実践の呼びかけがされた。

＜学級懇談会の様子＞

＜あいさつ＞　児童・役員

・お礼の言葉、学級懇談会への参加のお願い　など

＜子育てサロン（学級懇談会：家庭学習の充実）＞

・家庭教育プログラムNO．８「家庭学習を習慣化して学力アップ」を活用。「はじめのことば」、「アイスブレイク:お題自己紹介」

※「この季節に食べたい物とその理由、エピソード、最近興味をもっていること」など

※3つの約束「参加」「尊重」「守秘」を確認。

・ワーク1「こんなことありませんか？」 ※家庭学習について、困っていることを交流。

・ワーク2「心がけていることは？」 ※子どもも納得する「わが家の約束」を親子で作って取り組み始めた。習慣化するまで、スモールステップで、見守り励ましたい。

＜参加者の感想＞

・らんま先生の実験は、とても面白かったです。物を大切にしているし、あきらめずに最後までやっていることがすごいので、見習いたいです。飲める水は、世界に1％しかないので、水を大切にしたいと思いました。（子）

・親も子も一緒になって楽しみながら、エコについて、とても分かりやすく学ぶことができ、帰った後も、家族みんなでエコについて話し合うことができました。（親）

・学級懇談会では、家庭学習について、悩みや工夫を話し合うことで、安心できたしヒントにもなりました。親子で、わが家の約束を作って取り組みたいです。（親）

＜土曜参観日に実施＞

①参観授業

②親子サイエンスショー

③子育てサロン（懇談会）

土曜参観日に合わせて、親子サイエンスショーを開催。休日の学校行事に組み合わせて実施することによって、多くの参加者が学ぶことができるように工夫されていた。

＜親子で楽しく学んで考える環境問題＞

役員待望のサイエンスショーとあって、環境へのメッセージが込められた知的体験型パフォーマンスに、親子で目も心も釘付けとなる時間となった。楽しく学んだことをもとにして、家庭のエコについて感想を交流し合って用紙に記入することを通して、親子の会話や触れ合いを深める工夫がされていた。

＜家庭教育プログラムを活用した学級懇談会＞

学級懇談会に、「子育てサロン」を取り入れ、岐阜県教育委員会作成の家庭教育プログラム（小・中学校編）NO.8「家庭学習の習慣」を活用して、「家庭学習の充実」をテーマに話し合われた。各家庭の家庭学習について、困っていることや工夫していることなどを交流し合う中で、子育てのヒントを学び合う会になった。